



S H I G A K U K A N U N I V E R S I T Y



2026



志學館大学 大学院

心理臨床学研究科

心理臨床学専攻(修士課程)

[公認心理師養成大学院]

[臨床心理士第1種指定大学院]

本研究科について

志學館大学大学院心理臨床学研究科は心理臨床の専門職である公認心理師/臨床心理士を養成する大学院です。2005年の開設以来多くの修了生を鹿児島をはじめとする地域に送り出してきました。

公認心理師や臨床心理士になるにあたって大学院レベルの教育が求められるということはそれらの資格がより高度な専門性が求められるということです。

本大学院においても複雑多様化した現代社会の人々の心の健康に関わる専門家を育てるために、豊富な知識と経験を持つ教員が丁寧な指導をおこないます。

みなさんも志學館大学大学院でともに学びませんか。



▲ 志學館大学大学院心理臨床学研究科
木下 昌也 研究科長

本研究科の特色

W資格対応

(公認心理師・臨床心理士)

実習システム の充実

手厚い卒後 のサポート



W資格取得 公認心理師/臨床心理士の両資格に対応

本研究科は、国家資格公認心理師養成大学・大学院の認定と、日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院の認定を受けています。高度な心理専門職である公認心理師・臨床心理士を育成する養成機関であり、所定のカリキュラムを修了することで、両方の受験資格を得ることができます。

心理専門職の主要5領域「医療・教育・産業・福祉・司法」、それぞれの分野のエキスパートによる講義・演習が揃っており、心理査定、カウンセリングや各種心理療法など、修了後すぐに現場で働ける臨床力を養います。学部心理臨床実践コースとの連携を重視しており、学部生と大学院生が講義、演習、見学実習などで交流できるのも魅力の一つです。



充実した学内実習と学外実習



研究科附属の学内実習機関として「心理相談センター」「発達支援センター」を備えており、年間計約1200回の相談支援を行っています。大学院生は両センターで、300時間超の実践的な実習を積むことができ、公認心理師・臨床心理士としての臨床力を育む貴重な体験を得ています。

なお、九州の私立大学で学内に両センターを持つ大学院は本学だけです。本学の学生は、医療・保健領域11ヵ所、福祉領域6ヵ所、教育領域3ヵ所、司法領域2ヵ所からなる22の学外実習機関から実習先を選択し、複数の施設で実習を受けることができます。

学内環境

心理相談センター

家庭や職場、学校などでの対人関係の悩みや心の問題、不登校などを抱えるクライアントに対応します。

各種心理的アセスメントに基づき、カウンセリング、プレイセラピー、箱庭療法、臨床動作法などクライアントに適した心理療法を行います。また、保護者や学校教職員への支援、関係諸機関との調整等も行います。



発達支援センター

子どもから高齢者まで生活にさまざまな困難を抱えた方やその家族などを対象に、心理臨床的観点からライフサイクルに応じた支援を行います。

1対1の個別支援に加え、集団療育を通して、幼児や児童のソーシャルスキル向上や、思春期の子どもの育ち直しの場の提供、子どもを育てる保護者のコミュニティ作りを行います。学校教職員等へのコンサルテーションも行っています。



手厚い卒後サポートで 公認心理師・臨床心理士資格取得に向けバックアップ！

大学院在学中はもちろん、大学院修了後も研修会やセミナーなど様々な研修の機会があり、修了後のサポートも提供しています。学外から講師を招いた研修会では、最新の臨床実践や研究をされている先生方からご指導を受ける機会が用意されています。公認心理師国家試験の合格率は、第7回公認心理師国家試験85.7%〔令和5年度修了生〕、第8回公認心理師国家試験92.3%〔令和6年度修了生〕、臨床心理士資格試験の合格率は、令和5年度臨床心理士資格試験72.7%〔令和4年度修了生〕、令和6年度臨床心理士資格試験64.3%〔令和5年度修了生〕でした。修了生の合格に向けて、定期的に勉強会を開催し、盤石のサポート体制でバックアップしています。

研修会講師と研修テーマの一例（一部抜粋、講師の先生方の御所属などは当時）



- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ■ 山上敏子 先生（早良病院（精神科医）） | 「方法としての行動療法」 |
| ■ 村瀬嘉代子 先生（日本臨床心理士会会長） | 「これからの発達支援に求められるもの」 |
| ■ 松木邦裕 先生（京都大学大学院教授） | 「入門 精神分析的理解と援助」 |
| ■ 鴨志田祐美 先生（えがりて法律事務所弁護士） | 「発達障害に関わるさまざまな専門領域の連携・協働」 |
| ■ 鯨岡峻 先生（京都大学名誉教授） | 「なぜ『関係発達臨床論』なのか」 |

修了後の進路

【医療・保健】

県立始良病院、阿久根市民病院、天草病院、いこまクリニック、出水病院、ウェルフェア九州病院、大口病院、鹿児島医療センター、希望ヶ丘病院、花倉病院、坂之上病院、相良病院、桜ヶ丘病院、三州脇田丘病院、大悟病院、加治木記念病院、吉田病院、聖ルチア病院、武井内科クリニック、中川クリニック、西原保養院、福田病院、福山病院、藤元病院、松下病院、南九州さくら病院、メンタルホスピタル鹿児島、メンタルホスピタル鹿児島、碧山会、宮崎市保健所、山口大学医学部附属病院、やまびこ医療福祉センター 等

【福祉】

愛の聖母園、たけのこキッズ、いまきいれ子ども発達支援センターまある、大潟福祉会、鹿児島県社会福祉事業団、鹿児島自然学園、友愛学園、育成センターコスモス、清心乳児園、サランセンター、障害者（児）通所施設アリス、大一会、天心寮、のびーる下荒田、パソレ児童発達サポートセンターニーニョス、妙円寺こども園、八楽児童寮、こども療育センター結、フリースマイル、南さつま子どもの家、ひむかひこばえ学園 等

【教育・研究機関】

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野、宮崎学園短期大学、鹿児島市教育委員会、南九州市教育委員会 等

【公務】

鹿児島県職員（心理職）、鹿児島中央児童相談所、鹿児島県こども総合療育センター、宮崎県警察（警察事務）、自衛官（心理職） 等

【進学】

慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程、東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻博士課程、九州産業大学大学院国際文化研究科博士課程、鹿児島大学大学院歯歯薬総合研究科 等

在学生 VOICE



大学院 心理臨床学研究科 心理臨床学専攻
修士課程2年
志學館大学 卒業 川内高等学校 出身

柴田 一步さん

実践的な実習を通して

クライアントとの向き合い方を学びました。

学内の実習機関として心理相談センターと発達支援センターを備えており、学内での実践的な経験や、資格取得に向けた学びができるため、進学を決めました。

修士1年は講義と学内実習が中心で、修士2年になると学外の臨床現場での実習にシフトしていきます。学内の実習では先生から1対1で指導を受けることができ、クライアントとの向き合い方を考えたり、先生方から臨床経験についてお話を聞いたりするため、とても貴重な時間です。

心理学を学ぶことは、自己を理解することにもつながります。なりた自分になることを諦めずに大学院進学を目指してください。

修了生 VOICE



大学院 心理臨床学研究科 心理臨床学専攻
令和3年度 修了

【就職先】 社会福祉法人向陽会
やまびこ医療福祉センター

牛衛 瑠海さん

学んだことを活かして利用者さんや子どもの思いや

気持ちを汲み取れた時にやりがいを感じています

現在、やまびこ医療福祉センターで心理士として、発達の遅れや偏りがあるお子さんやその保護者、重症心身障害児者の支援を行っています。元々子どもが好きで、子どもの考えることを深く理解したいと思い、心理士を目指しました。

日々、子どもや保護者の方の気持ちを汲み取れた時にやりがいを感じています。

大学院の2年間は、講義や学内・学外実習などを通して患者さんの理解・支援に向けた様々な方法を学ぶと同時に、現場での実践につながる心理検査の練習やレポート課題・修士論文の作成に励みました。

志學館大学で得られる多くの経験から、自身の将来の夢や目指したい臨床家を見つけられるよう、応援しています。

教員紹介

● 研究指導担当

臨床心理学や心理学の各専門領域にわたって多数の優秀な専任教員がそろっており、医療・福祉・教育分野など、修了後の就職に十分配慮したカリキュラム編成を行っています。カウンセリングや心理療法、心理アセスメントなど、現場にすぐ役立つ技能が修得できるよう、実技指導に力を入れています。研究の指導体制も十分に整えられており、これまでに多くの学生が国内や海外での学会発表を行っています。



木下 昌也 教授(研究科長)

[発達心理学/学習心理学/行動学]

児童期から青年期にかけての行動の成熟に関する研究

山喜 高秀 教授 ●

[臨床心理学/発達臨床心理学]

発達障害、情緒障害、虐待を中心とする心的外傷など

飯干紀代子 教授(学長)

[神経心理学/生涯発達心理学/高齢者心理学]

高次脳機能障害・認知症の人への支援、ICTを使った支援

花形 武 准教授 ●

[臨床心理学/心理療法]

箱庭療法に関する研究など

大島 英世 教授 ●

[臨床心理学/臨床動作法]

子どもの発達、子育て支援、臨床動作法に関する研究

志賀 希子 講師 ●

[臨床心理学/健康心理学]

ストレス、うつ症状、メンタルヘルスクアなど

神薗 紀幸 教授

[社会心理学/対人行動学]

青年期の適応過程に関する研究

野元明日香 講師 ●

[臨床心理学/障害児心理学]

特別なニーズのある子どもやその家族への支援など

近藤 諭 教授

[社会病理学/コミュニケーション論]

貧困、社会の変化による生活支障に関する研究

畑田惣一郎 講師 ●

[臨床心理学/医療心理学]

認知行動療法や森田療法を活用した介入や研究など

野上 真 教授

[産業組織心理学/社会心理学]

モチベーション論、リーダーシップ論

前野 明子 講師 ●

[臨床心理学/応用行動分析学/障害者就労支援]

発達障害児者の家族支援、障害者の就労支援など

松本 宏明 教授 ●

[臨床心理学/家族療法/ブリーフセラピー]

依存症(ネット・アルコール)、心理検査など

川津 優 助教

[臨床心理学/認知行動療法]

子どものうつ・不安・心身症に対する心理支援など

胸元 孝夫 教授 ●

[心理医学・内科と行動療法をベースとした心身医療]

慢性疼痛、慢性疲労、糖尿病、過呼吸、うつ病など

後藤 知紀 助手

[臨床心理学]

来談者中心療法、発達障害児とその家族への支援など

修士論文のタイトル (紀要掲載の論文を抜粋)

- 心理臨床初学者の‘今ここ’での気付き ―フォーカシング的体験と自己理解に着目して―
- 家族特性及び家族構造が青年期の対人ストレスユーモアコーピングに与える影響
- カウンセラーの自己開示の質の違いがカウンセリング・カウンセラーイメージに与える効果について
- 幼少期における身近な養育者からの呼称形態が青年期の友人関係形成に及ぼす影響
- 発達障害を抱える子どもを育てる親における子どもの受容過程について―我が子の受容に注目して―



特待生制度

入学者選抜試験における成績が上位の者には、特待生としての資格が付与されます。

入学金免除

本学学部卒業後、引き続き入学する者は、入学金及び後援会入会金を免除します。



教育訓練給付制度

受給条件を満たす方が本学大学院へ入学した場合、本学大学院に支払った学納金の一部に相当する額を修了後にハローワークから教育訓練給付金として受給することができます。

給付金の詳細については、ハローワークインターネットサービスでご確認ください。

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html



長期履修学生制度

職業や家事に従事しながら生活スタイルに合わせて、通常2年間の修学年限を3年または4年のいずれかに変更できます。



アクセス

- JR……………「南鹿児島」駅から徒歩10分～15分
市電……………「南鹿児島駅前」から徒歩10分～15分
鹿児島交通…「志学館前」バス停から徒歩5分～10分



〒890-8504 鹿児島市紫原1-59-1
TEL.099-812-8501(代表)

入試広報課

資料請求・問い合わせ

TEL.099-812-8508

FAX.099-812-8214

e-mail: entrance@shigakukan.ac.jp

資料請求
受付中!



大学Webサイト

